

JHL NEWS

No. 7

2012年10月15日

●発行●
日本ハンドボールリーグ機構
会長 多田 博
東京都渋谷区神南1-1-1
電話 03-3481-2494

大崎、車体が6連勝、オムロンも首位堅持

～第37回日本ハンドボールリーグ・第6週～

日本ハンドボールリーグ・第6週は10月13、14日に広島などで男子4試合、女子2試合が行われ、男子は大崎電気とトヨタ車体が開幕6連勝を飾り、第1クールが終了した女子もオムロンが全勝をキープ、広島メイプルレッズを破った北國銀行が2位で続いた。

広島での湧永製薬・大崎は、大崎が高い位置からのアグレッシブなディフェンスで湧永の攻撃を止めると、速攻で徐々に点差を広げて13分9-2と先行。15分過ぎから湧永は大崎・豊田の退場をきっかけに2点を連取したが、大崎は途中出場の宮崎を中心に再びペースアップ。結局スタートの点差がものをいい、大崎が15-9とリードして前半を終えた。後半、反撃に転じたい湧永だったが、大崎のクイックスタートを止められずに苦戦。小室、宮崎らで着実に加点した大崎が終始ペースを握り、30-23と危なげなく逃げ切った。

沖縄での琉球コラソン・車体は、車体が富田を中心とした攻撃で前半9分5-2と先行したが、15分頃から足が動き出した琉球が徐々にリズムをつかみ、水野紀、名嘉らの速攻などで6連取して9-6と逆転、その後も先行を続け2点リードで前半を折り返した。しかし、後半に入ると一転して車体ペースに。富田の連取ですぐさま同点に追いついた車体は、光増の連続得点もあって5分に逆転、さらに富田らで加点して11分には21-17とリードを広げた。水野紀の退場や東長濱の失格で苦しい展開となった琉球は、名嘉らで懸命に食い下がったものの車体に傾いた流れを変えるまでに至らず。中盤以降も香川、渡部らで要所を締めた車体が29-25で勝利を握った。

佐賀でのトヨタ紡織九州・豊田合成は、スタートからシーソーゲームが続く中、14分過ぎから松信、石黒の3連打で12-7と先行した紡織が、そのまま15-11とリードして前半を終了。後半に入ると合成が反撃に転じ、中島、今村の速攻に続き、芳伸、中島の連打で5分15-15と同点に追いついた。このあとは互いに得点を奪い合う展開となり、勝負は終盤までもつれた。紡織は鈴木らの活躍で27分27-25と先行したが、合成も長江、今村の連続ゴールで同点に追いつき、白熱の攻防戦は両者譲らず27-27で引き分けとなった。

女子の広島・北國は、多彩なフォーメーションからポスト高山を使って加点する広島に対し、北國もGK田代を中心とした高いディフェンスからの速攻で得点をあげるなど上位チーム同士の試合にふさわしい一戦となった。しかし、前半22分、広島・塙見の退場を機に試合は大きく動き、上町、横嶋の連続得点などで北國が一気に混戦を抜け出し、17-11と6点差をつけて前半を終えた。後半、追い上げたい広島だが、不正入場による退場で逆に点差を広げられ、得点しても北國のクイックスタートですぐに取り返されるなど劣勢が続いた。北國は終始スピードに乗った攻守で先手を取り、前半のリードを守り切って2位対決を制した。



①6連勝を飾った大崎電気・宮崎
②2位対決を制した北國銀行・上町

第7週の日程

10月20日(土)	愛知	知立市福祉体育館(名鉄名古屋本線知立駅徒歩10分)	14:00～	(男)トヨタ車体×トヨタ自動車東日本
	三重	ゆめドームうえの(伊賀鉄道市部駅徒歩15分)	14:00～	(女)三重バイオレットアイリス×H.C.名古屋
	広島	湧永満之記念体育館 (JR芸備線甲立駅車10分)	13:00～	(女)広島メイプルレッズ×ソニーセミコンダクタ
			15:30～	(男)湧永製薬×豊田合成
10月21日(日)	沖縄	東風平運動公園体育館(沖縄バス「県営屋宜原団地前」下車徒歩15分)	14:00～	(男)琉球コラソン×トヨタ紡織九州
	石川	小松総合体育館(JR北陸本線小松駅徒歩20分)	13:00～	(女)北國銀行×オムロン
	愛知	中村スポーツセンター(地下鉄東山線中村日赤駅徒歩5分)	13:00～	(男)大同特殊鋼×大崎電気

トヨタ東日本が歓喜の初勝利

福井での北陸電力－トヨタ自動車東日本は、北電が桜井の通算400得点となるステップシュートなどで加点したのに対し、東日本も吉田のカットインや佐藤文のポストシュートで応戦、前半21分10-10と一進一退の攻防を展開した。ここから東日本は吉田、遠山の連続得点でリードを奪い、そのまま優位をキープして15-12と3点リードで前半を終了。後半も両者の激しい主導権争いが続き、北電が12分過ぎから落合らの4連取で23-21と逆転したが、東日本は崎前、佐藤文の連打で同点に追いつくと、さらにGK関口の好セーブから吉田、上野のミドルシュートなどで加速した。北電は神田らの得点などで意地を見せるが、追いつくことができずに意気消沈、東日本が32-30と逃げ切って歓喜の初勝利をマークした。

熊本でのオムロン－三重バイオレットアイリスは、オムロンが石立、東濱らで6分までに4点を連取。三重も早いパス回しから早船、大山がシュートを決めるが、オムロンは15分8-2とリードを広げたあとも着実に加点して16-7でUターン。後半もオムロが手堅いディフェンスからの速攻や勝連のサイドシュートなどで快調に飛ばした。三重は大山、阿久田のロングシュートなどで追撃したが、オムロンの素早い動きに対応できずに退場者が相次ぎ、逆に点差を広げられて力尽きた。

次週は愛知などで男子4試合、女子3試合が行われ、男子では全勝の大崎電気が大同特殊鋼と、トヨタ車体は東日本と対戦する。女子はオムロン・北國銀行の1-2位対決に注目が集まる。

◆ 10月13日(土) 女子
広島・中区スポーツセンター

北國銀行	32	(17-11 15-13)	24	広島マイブ ルレッズ
4勝0分1敗						3勝0分2敗
<0/3>	K	寺	田	堂	面	K <2/3>
0/ 0	若	泉	増	田	0 / 2	
0/ 1	鰐	場	橋	0 /	2	
2/4 8/10	上	町	河	田	0 / 0	
0/ 1	翁	長和	大	前	0 / 3	
6/ 9	石	野	朱	海	林	7/15 3/3
1/ 2	田	邊	塩	見	0 / 0	
0/ 2	小	野澤	早	川	5 / 6	
4/ 6	横	嶋	齋	田	0 / 0	
2/ 4	後	藤	安	塩	0 / 0	
2/ 4	翁	長栄	高	山	3 / 5	
K	田	代	田	口	K <0/1>	
K	橋	本	新	城	6 / 8	
6/ 8	八十	島	加	藤	0 / 0	
1/ 2	若	松				

2/4 30/49 2(FPP) 6 21/4

◆ 10月13日(土) 女子
熊本・山鹿市鹿本体育館

オムロン	33	(16- 7)	16	三重バイオレットアイリス
5勝0分0敗			17- 9			1勝0分4敗
<0/2>	K 藤 間		浅 橫 井 K	<0/6>		
1/ 4	澤 田		大 川 0/ 3			
0/ 1	巻 田		山 0/ 2			
1/1	1/ 3 稲 葉		阿 久 田 3/ 8	1/1		
6/6	4/ 8 藤 井		富 田 0/ 0			
	2/ 5 石 立		石 坂 0/ 1			
	0/ 0 吉 田		飯 田 2/ 5			
	1/ 3 永 田		石 川 0/ 0			
	K 山 中		毛 利 K	<0/3>		
	5/ 7 勝 連		黒 川 0/ 0			
	2/ 4 前 田		漆 畑 2/ 2			
2/2	1/ 3 吉 田		伊 藤 1/ 4	1/1		
	K 宮 川		小 稲 0/ 3			
	4/ 6 東 濱		万 谷 1/ 7			
	0/ 0 小 塚		早 船 3/13			
	3/ 4 金 且 姥					

中華醫學會編《中華醫學》

◆ 10月13日(土) 男子
広島・中区スポーツセンター

大崎電気	30	(15-9 15-14)	23	湧永製葉
6勝0分0敗					4勝0分2敗	
	K	浦	和	志	水	K <0/1>
2/ 3	小	澤	田	谷	村	2/ 8
3/ 4	豊	田	崎	木	村	1/ 1
4/ 6	宮	崎	坂	本	本	0/ 0
2/2	3/ 3	東	長	成	田	1/ 1
	1/ 2	永	島	東	江	1/ 1 1/2
	6/ 6	小	室	佐	藤	4/10
	0/ 1		森	樋	口	3/11
	3/ 5	岩	永	新		6/ 9
	1/ 1	夏	山	仁	平	0/ 1
	0/ 0	内	田	今	井	2/ 2
	1/ 2	猪	妻	松	村	K <0/1>
	1/ 4	石	川	古	家	1/ 3
<1/2>	K	吉	田	中	浦	1/ 3
	0/ 0	時	村	新	名	0/ 0
	3/ 4	信	太			

◆ 10月14日(日) 男子
沖縄・沖縄県立武道館

◆ 10月13日(土) 男子
福井・北陸電力福井体育馆フレア

トヨタ自動車					北陸電力
東日本	32	(15-12)	30		
1勝0分5敗		(17-18)			1勝0分6敗
K 永瀬	神田	3/ 6			
0/ 0 郷古	切越	5/15			
3/ 3 遠山	桜井	4/ 9	1/1		
0/ 0 斎藤	前田	0/ 0			
9/15 吉田	杉山	3/ 7	1/1		
4/ 4 佐藤謙	落合	3/ 3			
 <0/2> K 関名	川瀬	2/ 4			
0/ 0 桑小	廣瀬	K	<1/1>		
5/10 佐藤文	山原	5/10			
7/11 崎前	戸添	0/ 0			
0/1 4/10 上野	川塚	1/ 7			
	赤佐々木	2/ 6			
	有江	K			
	樹田	0/ 0			

0/1 32/53 5 (FPP) 7 28/67 2/2

		シュー ト阻止率			
0.000	0/0	永瀬	廣瀬	15/46	0.326
0.451	23/51	関口	川添	0/0	0.000

0.451 23/51 (GK) 15/46 0.326
審判 (土橋・清水) 観客 313人

◆ 10月13日(土) 男子
佐賀・トヨタ紡織九州クレインアリーナ

トヨタ紡織	15-11	豊田合成
九州	27 (12-16) 27	
2勝2分2敗		1勝2分3敗
K 松 野	榎 原 0/ 0	
7/11 中 畠 0/ 1	原 田 1/ 1	
0/ 1 西 端 2/ 4	野 木 1/ 4	
2/ 4 上 田 2/ 2	黒 橋 0/ 0	
2/ 2 松 信 2/ 2	大 谷 1/ 3	
2/ 2 村 上 秀 1/ 5	桶 岩 1/ 4	
0/ 0 佐 民 1/ 5	湯 脇 0/ 0	
0/ 0 村 間 0/ 0	佐 久 7/10	
4/ 7 海 道 4/ 2	村 島 5/ 7	
2/ 2 柳	長 江 0/ 0	
K 下 野 0/ 0	加 藤 K	
0/ 0 藤 2/ 5	藤 田 村 4/ 8	
2/ 5 鈴 1/ 1	今 仲 5/ 6	
0/ 3 藤 4/ 6	芳 堂 2/ 4	
山 黒	石 堂 K	<0/1

チャレンジ・ディビジョン開幕へ

4回目を迎えたチャレンジ・ディビジョンが10月27日にスタートする。

参加するのは下記の10チームでA、Bブロック各5チームによる総当たりリーグを終えたあと、来年1月26、27日に愛知で決勝トーナメント及び順位決定戦を行なう。決勝トーナメントに進出するのは、それぞれの上位2チーム。A 1位 - B 2位、B 1位 - A 2位で準決勝を行い、勝者が決勝で優勝を争う。

〈A ブロック〉 H C 岐阜（岐阜）、トヨタ自動車（愛知）、H C 春日井（愛知）、岐阜聖徳学園大学（岐阜）、同朋クラブ（愛知）

〈Bブロック〉Honda（三重）、OSAKA SELECTION（大阪）、八光自動車（大阪）、HC・MKA奈良（奈良）、TOYAMA選抜（富山）

男女個人ランキング 第6週終了現在

《男子》

得点王

1 東長濱 秀作 (琉球コラソン)	46点	(7試合)	1 藤井 紫緒 (オムロン)	37点	(5試合)
2 村山 裕次 (琉球コラソン)	42点	(7試合)	2 高山 智恵 (マイブルレッズ)	35点	(5試合)
3 中島 晋太郎 (豊田合成)	39点	(6試合)	3 上町 史織 (北國銀行)	34点	(5試合)
4 渡部 仁 (トヨタ車体)	38点	(6試合)	4 八十島 智美 (北國銀行)	28点	(5試合)
5 赤塚 孝治 (北陸電力)	37点	(7試合)	4 山野 由美子 (ソニーセミコンダクタ)	28点	(5試合)
6 上野 承太 (トヨタ自動車東日本)	36点	(6試合)	6 新城 明奈 (マイブルレッズ)	27点	(5試合)
7 鈴木 濟 (トヨタ紡織九州)	33点	(6試合)	7 宋 海林 (マイブルレッズ)	25点	(5試合)
8 宮崎 大輔 (大崎電気)	31点	(6試合)	8 勝連 智恵 (オムロン)	22点	(5試合)
8 切越 巧也 (北陸電力)	31点	(7試合)	9 錦織 新 (ソニーセミコンダクタ)	21点	(5試合)
10 富田 恭介 (トヨタ車体)	30点	(6試合)	10 横嶋 かおる (北國銀行)	20点	(5試合)
11 東長濱 秀希 (大崎電気)	28点	(6試合)	10 早川 志歩 (マイブルレッズ)	20点	(5試合)
11 新建二 (湧永製薬)	28点	(6試合)	10 石井 宏実 (ソニーセミコンダクタ)	20点	(5試合)
11 山原 佑太 (北陸電力)	28点	(7試合)	13 田中 美音子 (ソニーセミコンダクタ)	18点	(5試合)

フィールド得点

1 村山 裕次 (琉球コラソン)	42点	(7試合)	1 高山 智恵 (マイブルレッズ)	33点	(5試合)
2 中島 晋太郎 (豊田合成)	39点	(6試合)	2 八十島 智美 (北國銀行)	28点	(5試合)
3 東長濱 秀作 (琉球コラソン)	37点	(7試合)	3 上町 史織 (北國銀行)	25点	(5試合)
4 鈴木 濟 (トヨタ紡織九州)	33点	(6試合)	4 新城 明奈 (マイブルレッズ)	23点	(5試合)
4 上野 承太 (トヨタ自動車東日本)	33点	(6試合)	5 勝連 智恵 (オムロン)	22点	(5試合)
6 宮崎 大輔 (大崎電気)	31点	(6試合)	5 藤井 紫緒 (オムロン)	22点	(5試合)
6 切越 巧也 (北陸電力)	31点	(7試合)	7 横嶋 かおる (北國銀行)	20点	(5試合)
8 富田 恭介 (トヨタ車体)	30点	(6試合)	7 錦織 新 (ソニーセミコンダクタ)	20点	(5試合)
8 渡部 仁 (トヨタ車体)	30点	(6試合)	7 石井 宏実 (ソニーセミコンダクタ)	20点	(5試合)
10 赤塚 孝治 (北陸電力)	29点	(7試合)	10 早川 志歩 (マイブルレッズ)	19点	(5試合)
11 新建二 (湧永製薬)	28点	(6試合)	10 山野 由美子 (ソニーセミコンダクタ)	19点	(5試合)
11 山原 佑太 (北陸電力)	28点	(7試合)	12 田中 美音子 (ソニーセミコンダクタ)	18点	(5試合)

シュート率 (フィールド得点ベスト10を対象)

1 富田 恭介 (トヨタ車体)	30点/ 42射 0.714	1 横嶋 かおる (北國銀行)	20点/ 24射 0.833
2 渡部 仁 (トヨタ車体)	30点/ 44射 0.682	2 八十島 智美 (北國銀行)	28点/ 37射 0.757
3 鈴木 濟 (トヨタ紡織九州)	33点/ 54射 0.611	3 錦織 新 (ソニーセミコンダクタ)	20点/ 27射 0.741
4 中島 晋太郎 (豊田合成)	39点/ 64射 0.609	4 勝連 智恵 (オムロン)	22点/ 30射 0.733
5 宮崎 大輔 (大崎電気)	31点/ 57射 0.544	5 新城 明奈 (マイブルレッズ)	23点/ 33射 0.697
6 切越 巧也 (北陸電力)	31点/ 58射 0.534	6 早川 志歩 (マイブルレッズ)	19点/ 29射 0.655
7 村山 裕次 (琉球コラソン)	42点/ 83射 0.506	7 高山 智恵 (マイブルレッズ)	33点/ 52射 0.635
8 赤塚 孝治 (北陸電力)	29点/ 67射 0.433	8 藤井 紫緒 (オムロン)	22点/ 36射 0.611
9 東長濱 秀作 (琉球コラソン)	37点/ 93射 0.398	9 石井 宏実 (ソニーセミコンダクタ)	20点/ 33射 0.606
10 上野 承太 (トヨタ自動車東日本)	33点/ 84射 0.393	10 上町 史織 (北國銀行)	25点/ 46射 0.543
11 山野 由美子 (ソニーセミコンダクタ)	11 山野 由美子 (ソニーセミコンダクタ)	19点/ 42射 0.452	

7mスロー得点

1 東長濱 秀希 (大崎電気)	10点	(6試合)	1 藤井 紫緒 (オムロン)	15点	(5試合)
2 桶口睦 (湧永製薬)	9点	(6試合)	2 山野 由美子 (ソニーセミコンダクタ)	9点	(5試合)
2 東長濱 秀作 (琉球コラソン)	9点	(7試合)	2 上町 史織 (北國銀行)	9点	(5試合)
4 渡部 仁 (トヨタ車体)	8点	(6試合)	4 宋 海林 (マイブルレッズ)	8点	(5試合)
4 赤塚 孝治 (北陸電力)	8点	(7試合)	5 増田 寛那 (マイブルレッズ)	6点	(5試合)
6 野村 喜亮 (大同特殊鋼)	7点	(6試合)	5 鈴木 身江子 (H C 名古屋)	6点	(5試合)
7 野田 祐希 (豊田合成)	5点	(6試合)	5 伊藤 亜衣美 (バイオレットアイリス)	6点	(5試合)
7 藤山 岳士 (トヨタ紡織九州)	5点	(6試合)	8 新城 明奈 (マイブルレッズ)	4点	(5試合)
9 東江 太輝 (湧永製薬)	4点	(6試合)	9 翁長 茉莉枝 (北國銀行)	3点	(5試合)
9 崎前 健治 (トヨタ自動車東日本)	4点	(6試合)	10 吉田 起子 (オムロン)	2点	(4試合)
11 柳 匝郎 (トヨタ紡織九州)	3点	(6試合)	10 高山 智恵 (マイブルレッズ)	2点	(5試合)
11 木切倉 真一 (トヨタ車体)	3点	(6試合)			
11 上野 承太 (トヨタ自動車東日本)	3点	(6試合)			

シュート阻止率 (フィールドシュートを受けた数が、男子9位・女子6位以内のGKが対象)

1 甲斐 昭人 (トヨタ車体)	65本/ 156射 0.417	1 藤間 かおり (オムロン)	64本/ 135射 0.474
2 浦和 克行 (大崎電気)	73本/ 177射 0.412	2 田代 ひろみ (北國銀行)	62本/ 132射 0.470
3 久保 侑生 (大同特殊鋼)	54本/ 151射 0.358	3 飛田 季実子 (ソニーセミコンダクタ)	68本/ 153射 0.444
4 石田 孝一 (琉球コラソン)	87本/ 246射 0.354	4 浅井 友可里 (バイオレットアイリス)	40本/ 98射 0.408
5 松野 雅崇 (トヨタ紡織九州)	68本/ 205射 0.332	5 堂 面 妙子 (マイブルレッズ)	36本/ 111射 0.324
6 志水 孝行 (湧永製薬)	58本/ 179射 0.324	6 近藤 澄江 (H C 名古屋)	45本/ 145射 0.310
7 廣瀬 騎優 (北陸電力)	40本/ 131射 0.305		
8 関口 勝志 (トヨタ自動車東日本)	91本/ 305射 0.298		
9 有江 啓 (北陸電力)	45本/ 159射 0.283		

7mスロー阻止率 (7mスローを受けた数が、チームの試合数以上のGKが対象)

1 東 佑三 (大崎電気)	3本/ 6射 0.500	1 田口 舞 (マイブルレッズ)	3本/ 5射 0.600
2 志水 孝行 (湧永製薬)	6本/ 13射 0.462	2 南 裕子 (ソニーセミコンダクタ)	4本/ 7射 0.571
3 久保 侑生 (大同特殊鋼)	3本/ 8射 0.375	3 堂 面 妙子 (マイブルレッズ)	5本/ 9射 0.556
4 廣瀬 騎優 (北陸電力)	5本/ 14射 0.357	3 藤間 かおり (オムロン)	5本/ 9射 0.556
5 内田 武志 (琉球コラソン)	4本/ 15射 0.267	5 毛利 久美 (バイオレットアイリス)	7本/ 18射 0.389
6 藤堂 聖二 (豊田合成)	2本/ 9射 0.222	6 飛田 季実子 (ソニーセミコンダクタ)	5本/ 13射 0.385
7 関口 勝志 (トヨタ自動車東日本)	2本/ 11射 0.182	7 家城 千香 (H C 名古屋)	3本/ 11射 0.273
		8 浅井 友可里 (バイオレットアイリス)	4本/ 19射 0.211

第37回日本ハンドボールリーグ成績表

第6週第2日終了 10月14日

順位	男子	大崎電気	トヨタ車体	湧永製薬	トヨタ紡織九州	琉球コラソン	大同特殊鋼	豊田合成	トヨタ自動車東日本	北陸電力	試合数	勝数	引分数	敗数	勝点	総得点	総失点	差
1	大崎電気			30 ○ 23	34 ○ 29	34 ○ 19		38 ○ 30	41 ○ 21	38 ○ 24	6	6	0	0	12	215	146	69
2	トヨタ車体			29 ○ 26	33 ○ 27	29 ○ 25	36 ○ 24	37 ○ 30		37 ○ 27	6	6	0	0	12	201	159	42
3	湧永製薬	23 ● 30	26 ● 29			27 ○ 25	32 ○ 27		43 ○ 26	26 ○ 22	6	4	0	2	8	177	159	18
4	トヨタ紡織九州	29 ● 34	27 ● 33				21 △ 21	27 △ 27	38 ○ 21	32 ○ 28	6	2	2	2	6	174	164	10
5	琉球コラソン	19 ● 34	25 ● 29	25 ● 27			20 ○ 19	20 ○ 20	37 ○ 18	25 ● 33	7	2	1	4	5	171	180	-9
6	大同特殊鋼		24 ● 36	27 ● 32	21 △ 21	19 ● 20		29 ○ 24	41 ○ 22		6	2	1	3	5	161	155	6
7	豊田合成	30 ● 38	30 ● 37		27 △ 27	20 △ 20	24 ● 29			30 ○ 24	6	1	2	3	4	161	175	-14
8	トヨタ自動車東日本	21 ● 41		26 ● 43	21 ● 38	18 ● 37	22 ● 41			32 ○ 30	6	1	0	5	2	140	230	-90
9	北陸電力	24 ● 38	27 ● 37	22 ● 26	28 ● 32	33 ○ 25		24 ● 30	30 ● 32		7	1	0	6	2	188	220	-32

順位	女子	オムロン	北國銀行	広島メイプルレッス	ソニーセミコンダクタ	三重バイオレットアイリス	HC名古屋	試合数	勝数	引分数	敗数	勝点	総得点	総失点	差
1	オムロン		22 ○ 18	30 ○ 18	19 ○ 15	33 ○ 16	33 ○ 16	5	5	0	0	10	137	83	54
2	北國銀行	18 ● 22		32 ○ 24	26 ○ 25	36 ○ 7	33 ○ 9	5	4	0	1	8	145	87	58
3	広島メイプルレッス	18 ● 30	24 ● 32		30 ○ 26	38 ○ 17	29 ○ 14	5	3	0	2	6	139	119	20
4	ソニーセミコンダクタ	15 ● 19	25 ● 26	26 ● 30		25 ○ 16	29 ○ 17	5	2	0	3	4	120	108	12
5	三重バイオレットアイリス	16 ● 33	7 ● 36	17 ● 38	16 ● 25		23 ○ 16	5	1	0	4	2	79	148	-69
6	HC名古屋	16 ● 33	9 ● 33	14 ● 29	17 ● 29	16 ● 23		5	0	0	5	0	72	147	-75

※この星取り表は、シーズン途中は試合数に関係なく、仮の順位で並び替えてあります。

同勝点の場合は、1. 対戦間勝点 2. 対戦間得失点差 3. 総得失点差 4. 総得点 の多い順で順位付けしています。